

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 課題研究（広告デザイン）

教科：商業 科目：課題研究（広告デザイン） 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A～F 組

使用教科書：（ ）

教科 商業 の目標：

【知識・技術】 広告に関するソフトウェアについて実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けるよう

【思考・判断・表現】 ソフトウェアに関して、ビジネスシーンでの活用方法を想定できる力を養い、合理的な判断ができるように

【主体的に学習に取り組む態度】 各種ソフトウェアについて自ら学び、作品制作に主体的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究（広告デザイン） の目標：

【知識・技術】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
企業の広告活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業の広告活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業の広告活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	ガイダンス	・身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する。 ・課題研究に取り組む姿勢を理解し、実践するところがまを身に付ける。 ・企業の広告、広報活動を理解し社会で利用されているソフトウェアの例や、活用の実例を学ぶことにより、ソフトウェアを活用する重要性を理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 課題研究のところがまえと意義について考え、理解することができたか。 企業広告の特徴や広報活動の概要を理解し、ソフトウェアの役割を考え、具体的な利用例を理解することができたか。 ネット通信ビジネスにおける情報通信システムに関心を持ち、各種決済システムなどの、ソフトウェアの意義や役割を考え、理解することができたか。 ビジネスにおけるソフトウェアの役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○		2
	ワープロソフトの機能	ワープロソフトウェアの機能や情報技術の進歩に伴う広報手段の変化について理解し、それを活用する基礎的な方法を身に付ける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワープロソフトウェアの機能と文書デザインにおける具体的な活用方法を理解する。基礎的な操作を身に付け、組み合わせる方法を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 実際にソフトウェアを操作し、集中して取り組んでいるか。	○	○	○	3
	ワープロソフトの活用	・ワープロソフトウェアを通して、情報の表現方法について理解し、様々なデータ形式を収集、加工した情報を広告文書として適切に表現する能力を身に付ける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワープロソフトウェアを通して、情報の加工方法について理解し、様々なデータを活用する能力を身に付けるとともに、適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 発展課題に取り組む。	○	○	○	9
	ポスター作製（1回目）	・ワープロソフトウェアを活用して、ポスターを作成することを通して、具体的に活用する技術を身に付ける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワープロソフトウェアの目的に応じた活用方法を理解し、活用する技術を身に付ける。適切に作品として表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発展課題に集中して取り組む。	○	○	○	12
2 学期	ポスター作製（2回目）	・ワープロソフトウェアを活用して、ポスターを作成することを通して、具体的に活用する技術を身に付ける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 継続して作品制作に取り組む、ワープロソフトウェアの目的に応じた活用方法をさらに深く理解する。また、その活用する技術を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 発展課題に集中して取り組む。	○	○	○	8
	著作権	・著作権に関する理解を深める。企業活動における著作権の注意点を学び、作品を広告に活用する方法を身に付ける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 著作権に関する知識を学習し理解を深める。企業活動における注意点を学び、作品を広告に活用する方法を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		6

	課題研究発表会 学校PR作品	<ul style="list-style-type: none"> ・学校PR作品を作成し作品制作に、知識・技術を活用する能力を身に付ける。 ・ワープロソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアの機能を利用した広告や発表活動を通して、企業活動の改善を科学的な根拠に基づいて、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付ける。 	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ワープロソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアの機能を利用した広告や発表活動を通して、その活用方法に対して理解を深めているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 作品制作に集中して取り組むとともに、積極的に発表をしているか。</p>	○	○	○	18
3 学 期	作品の完成と1年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の制作過程をとおり、具体的な技術として身に付ける。 ・1年間の振り返り、発表活動や相互評価から学習事項を整理し、理解を深める。 	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ワープロソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアの機能を利用して、主体的かつ協働的に取り組み、その技術を身に付けているか。複数のソフトウェアを活用した連携処理を理解し、広告作品に組み込む技術を身に付けているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○		10
							合計 68